



新光商事 株式会社
Shinko Shoji Co., Ltd.

2009年3月期決算説明会

- 決算の概要
- 今後の施策
- 当期の見通し

2009年5月20日

代表取締役社長 北井 暁夫

このプレゼンテーション資料で述べられている当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

あくまでも現時点での将来予想であり、リスクや不確定要素を含んでいることから、実際の業績は大きく異なる結果となることがあります。

それらのリスクや不確定要素の主なものは、以下のとおりです。

- ・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向
- ・エレクトロニクス産業における技術トレンドの変化
- ・当社の主要製品市場における需給の急激な変動
- ・ドル等外国通貨の対円為替相場の大幅な変動

決算の概要

2009年3月期連結決算のポイント

未曾有の世界同時不況の煽りを受け、
期初見通しを大幅下方修正

- 第2四半期までは、ほぼ予定通りに推移
- 第3四半期以降急激な落込み
- 第3四半期修正発表はクリア

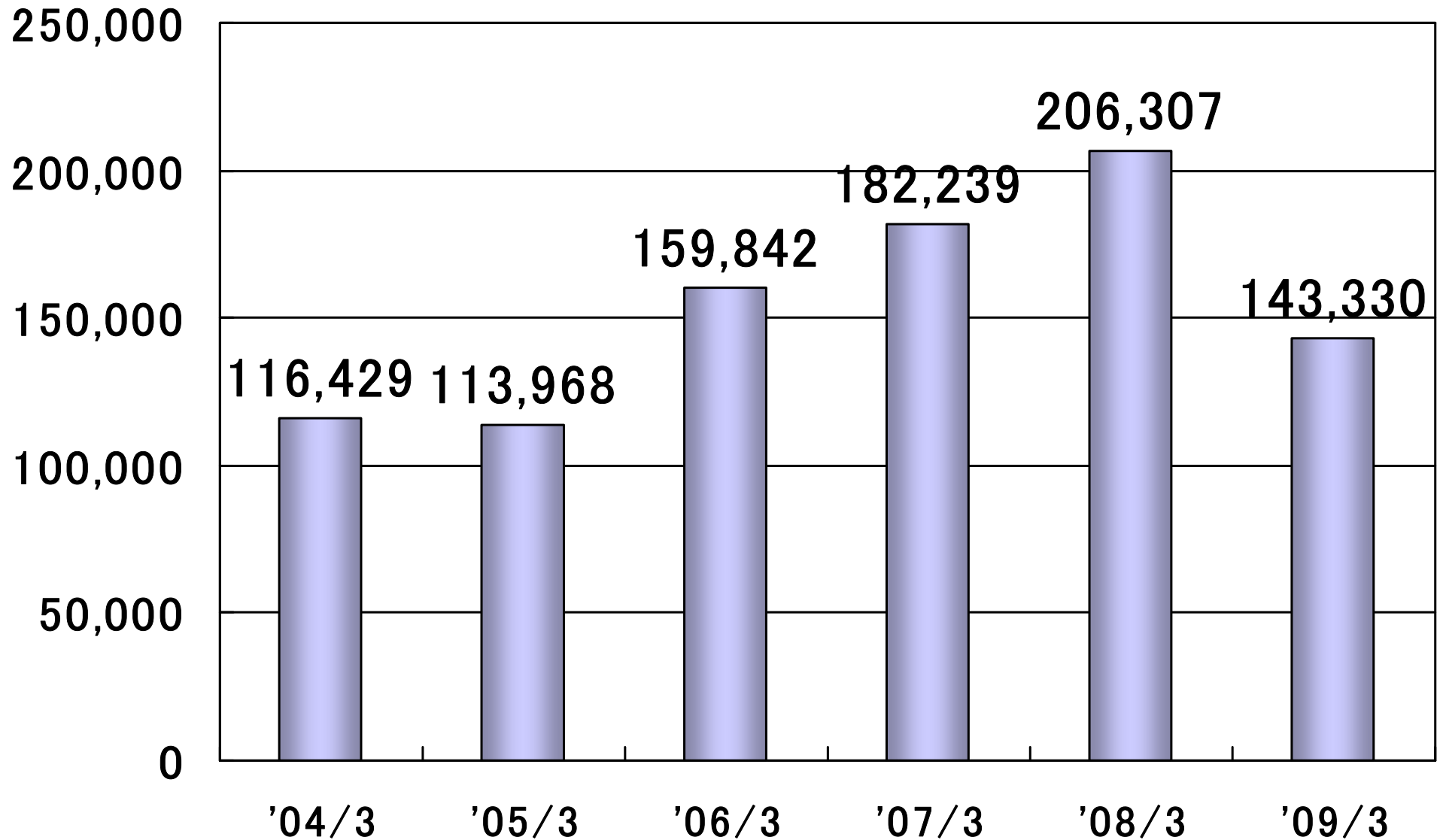
決算の概要

(百万円)

	08年3月期	09年3月期	前期比	修正見通し	修正見通し比
売上高	206,307	143,330	-30.5%	142,000	100.9%
売上総利益	17,004	11,821	-30.5%	—	—
販管費	10,432	9,414	-9.8%	—	—
営業利益	6,571	2,406	-63.4%	1,900	126.6%
経常利益	7,078	2,697	-61.9%	2,300	117.3%
当期純利益	4,391	990	-77.4%	600	165.0%
1株当たり 当期純利益	181円60銭	40円00銭	-77.9%	—	—
1株当たり 配当金(年間)	38円00銭	40円00銭 (予想)	105.2% (予想)	—	—

売上高推移

(百万円)



セグメント情報

(百万円)

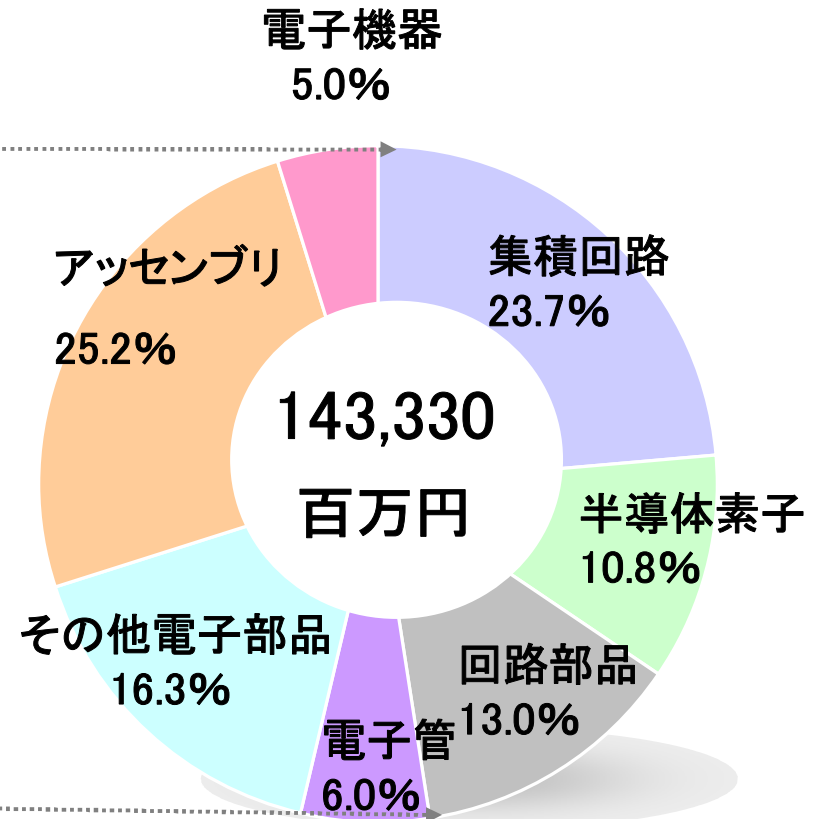
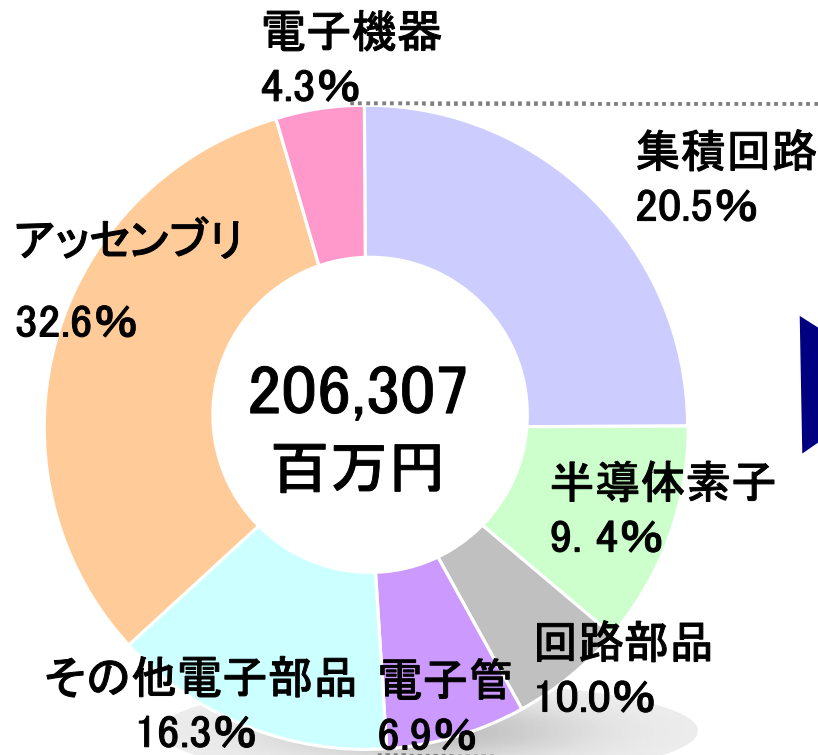
事業の種類別		08年3月期	09年3月期	前期比
電子部品事業	売上高	130,219	100,242	77.0%
	営業利益	6,350	3,640	57.3%
アッセンブリ事業	売上高	67,232	36,187	53.8%
	営業利益	2,713	909	33.5%
その他の事業	売上高	8,854	6,900	77.9%
	営業利益	228	284	124.6%

所在地別		08年3月期	09年3月期	前期比
日本	売上高	162,286	122,768	75.6%
	営業利益	7,683	4,664	60.7%
アジア	売上高	42,048	27,979	66.5%
	営業利益	1,893	401	21.1%
北米	売上高	1,972	1,647	83.5%
	営業利益	65	31	48.4%

品種別売上高構成①

【08年3月期】

【09年3月期】

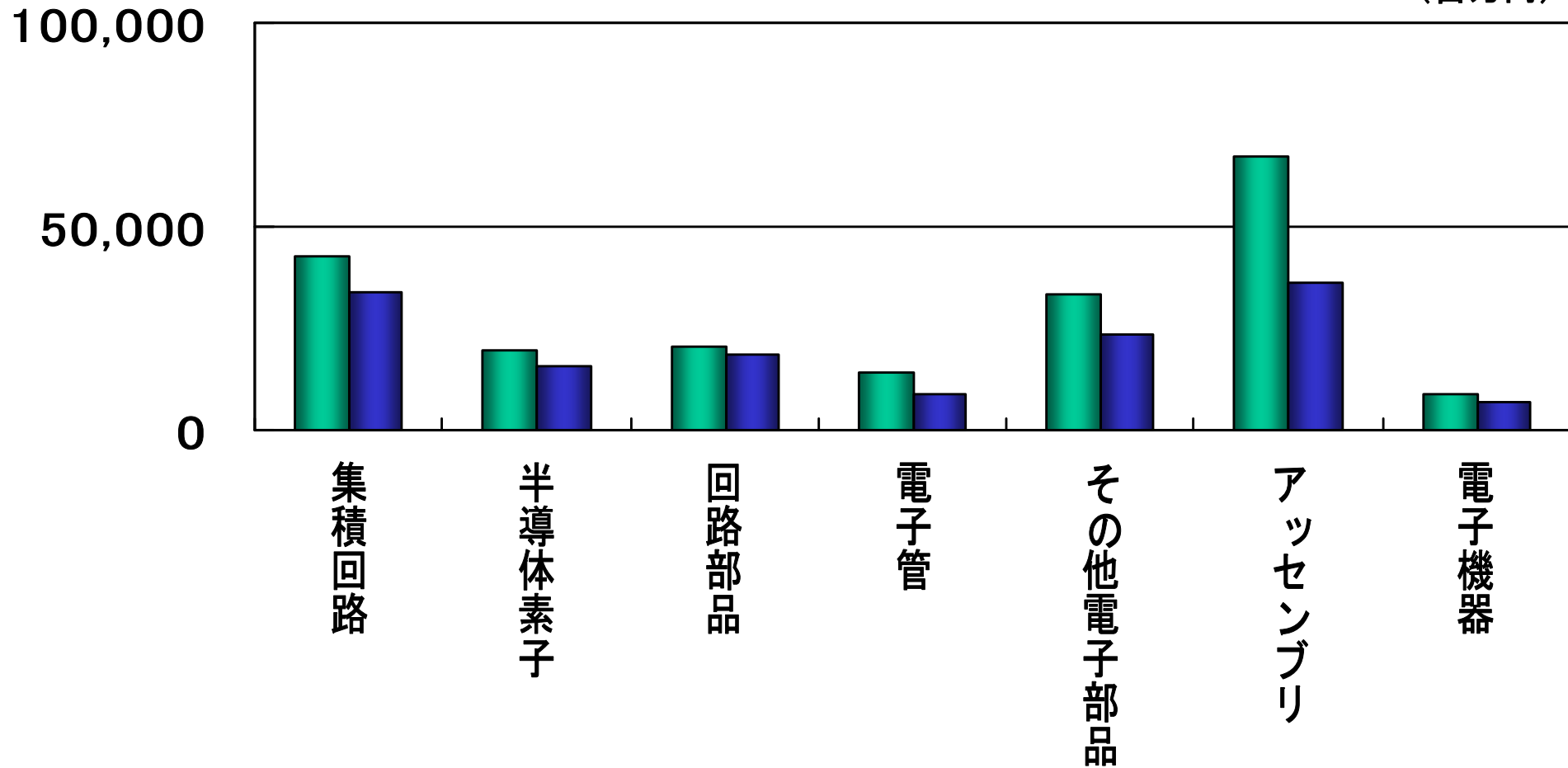


品種別売上高構成②

セグメント前年同期比較

■ 08年3月期 ■ 09年3月期

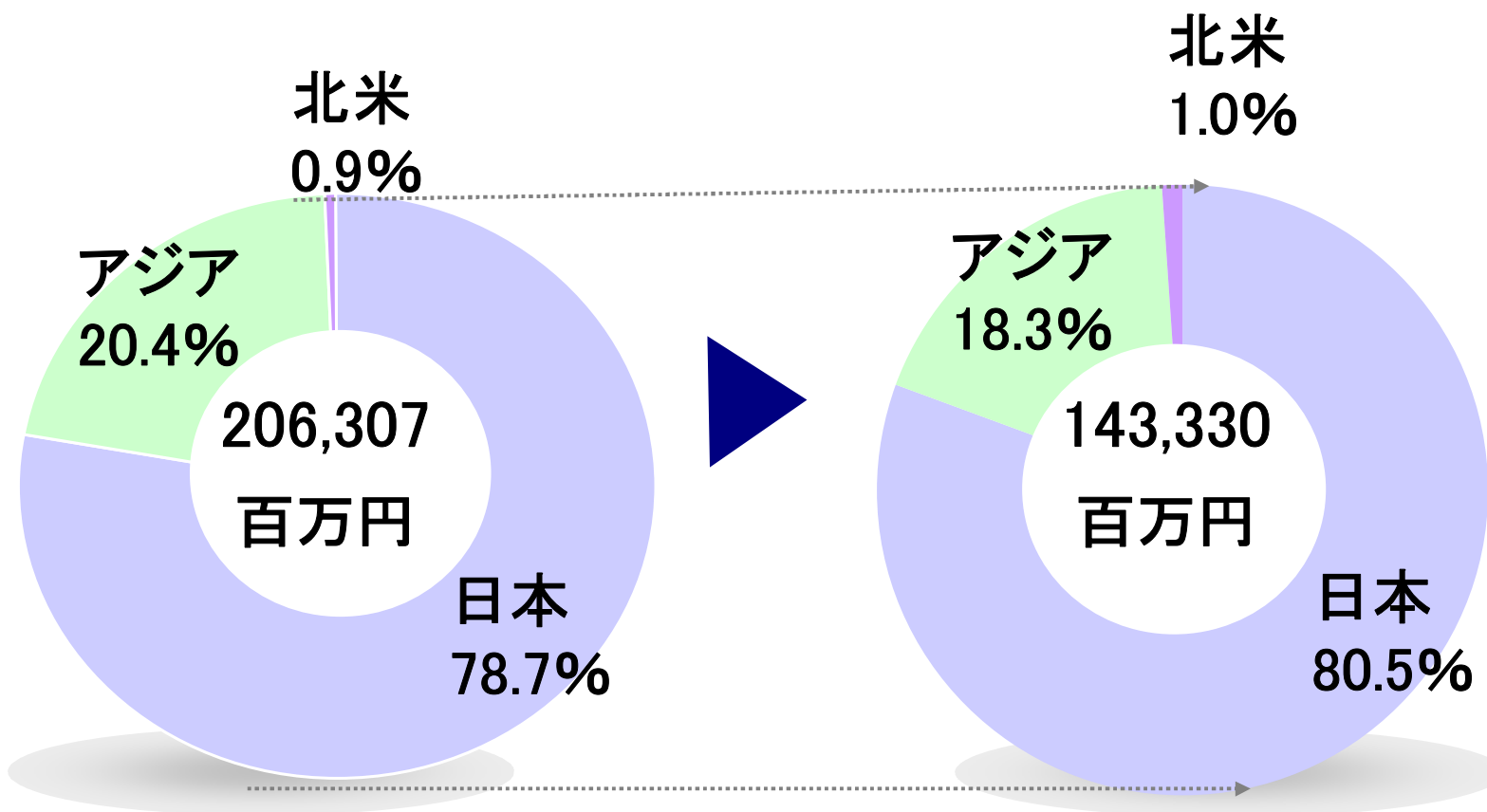
(百万円)















エリア別売上高構成

【08年3月期】

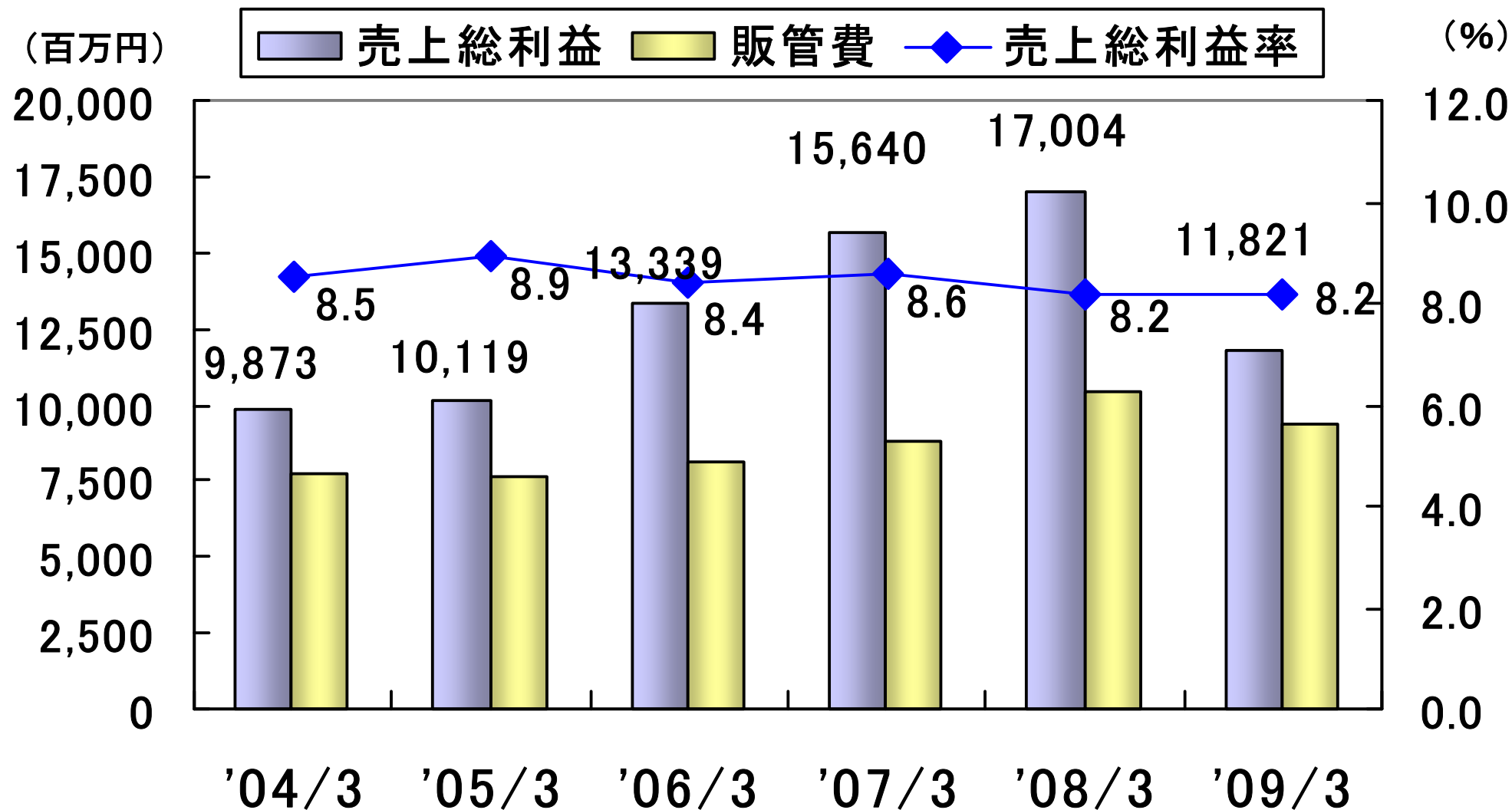
【09年3月期】



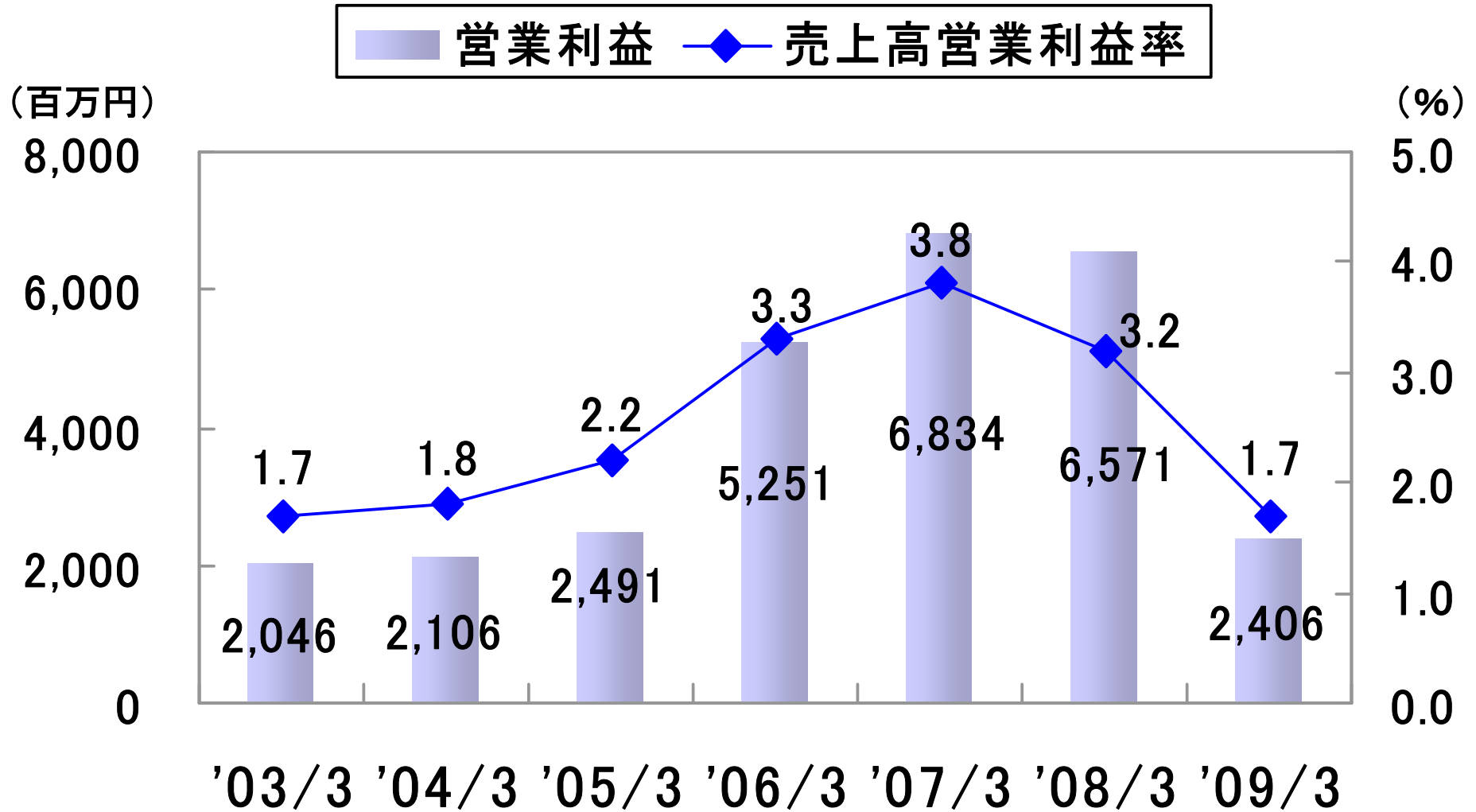
分野別の動向

	08年3月期 トレンド	09年3月期 トレンド	動向
通信			国内携帯電話市場の減速
電装			世界同時不況の影響により急減速
産業			半導体設備を中心とした設備産業の低迷続く
民生			大手ゲーム機メーカー向け新規採用により微増
OA			PC周辺機器向けASICの減少
娯楽機器			当社担当機種生産台数の減少

売上総利益／売上総利益率



営業利益／売上高営業利益率



特別損益等の主な増減要因

(百万円)

	08年3月期	09年3月期	増減額
特別利益	46	121	74
特別損失	311	614	303
うち、固定資産売却・除却損	6	44	37
投資有価証券評価損	113	265	151
特別退職金	11	129	118
人事制度変更費用	0	115	115
税金等調整前当期純利益	6,814	2,204	△ 4,609
法人税等	2,301	1,279	△ 1,022
うち、繰延税金資産取崩し	0	398	398
少数株主利益	121	△ 65	△ 186
当期純利益	4,391	990	△ 3,400

要約貸借対照表 1

(百万円)

	08年3月期	09年3月期	増減額
資産合計	96,544	70,500	△ 26,043
流動資産	87,814	62,918	△ 24,895
うち、現金及び預金	20,029	16,442	△ 3,586
売掛債権等	49,536	27,735	△ 21,801
たな卸資産	11,501	10,910	△ 591
繰延税金資産	641	383	△ 258
固定資産	8,730	7,582	△ 1,147
うち、投資有価証券	2,626	1,836	△ 790
繰延税金資産	638	521	△ 117

要約貸借対照表2

(百万円)

	08年3月期	09年3月期	増減額
負債合計	48,458	22,986	△ 25
流動負債	44,946	18,976	△ 25,969
買掛債務	39,745	14,104	△ 25,641
短期借入金	2,430	3,526	1,096
未払法人税等	1,082	81	△1,001
固定負債	3,511	4,009	498
長期借入金	2,000	2,500	500
純資産合計	48,086	47,513	△ 572
うち、その他有価証券評価差額金	190	△97	△288
為替換算調整勘定	△672	△958	△286

キャッシュ・フロー

(百万円)

	08年3月期	09年3月期	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,598	△3,716	△10,314
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,662	△268	1,394
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,600	607	△992
現金及び現金同等物の期末残高	20,029	16,442	△3,586



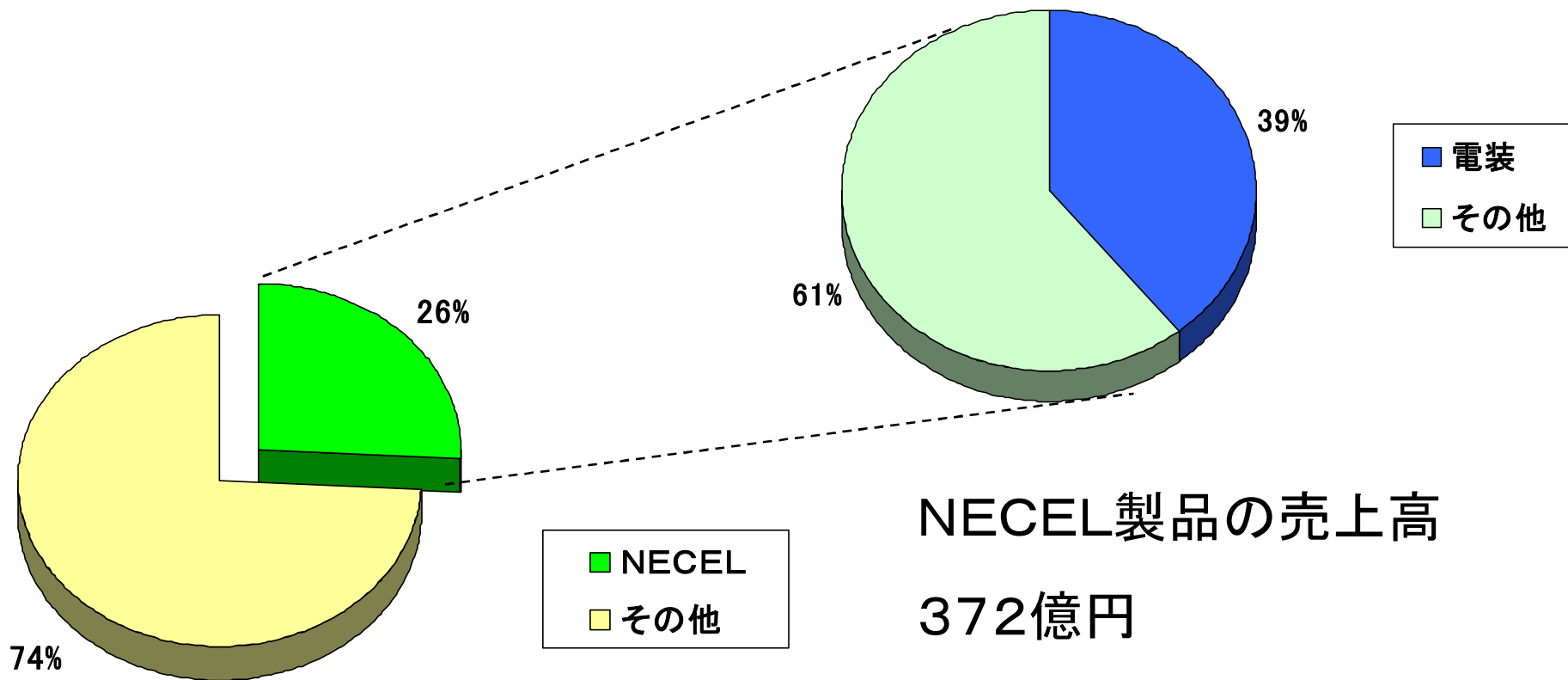
今後の施策

今後の施策

- 1 NECエレクトロニクスとのビジネス状況について
- 2 電装マーケットに対する取り組み
- 3 新市場の開拓による事業基盤の強化
- 4 海外事業の状況
- 5 新光商事グループの経費削減について
- 6 娯楽機器事業の現状と見通し

1. NECエレクトロニクス製品のビジネス状況①

09年3月期の状況



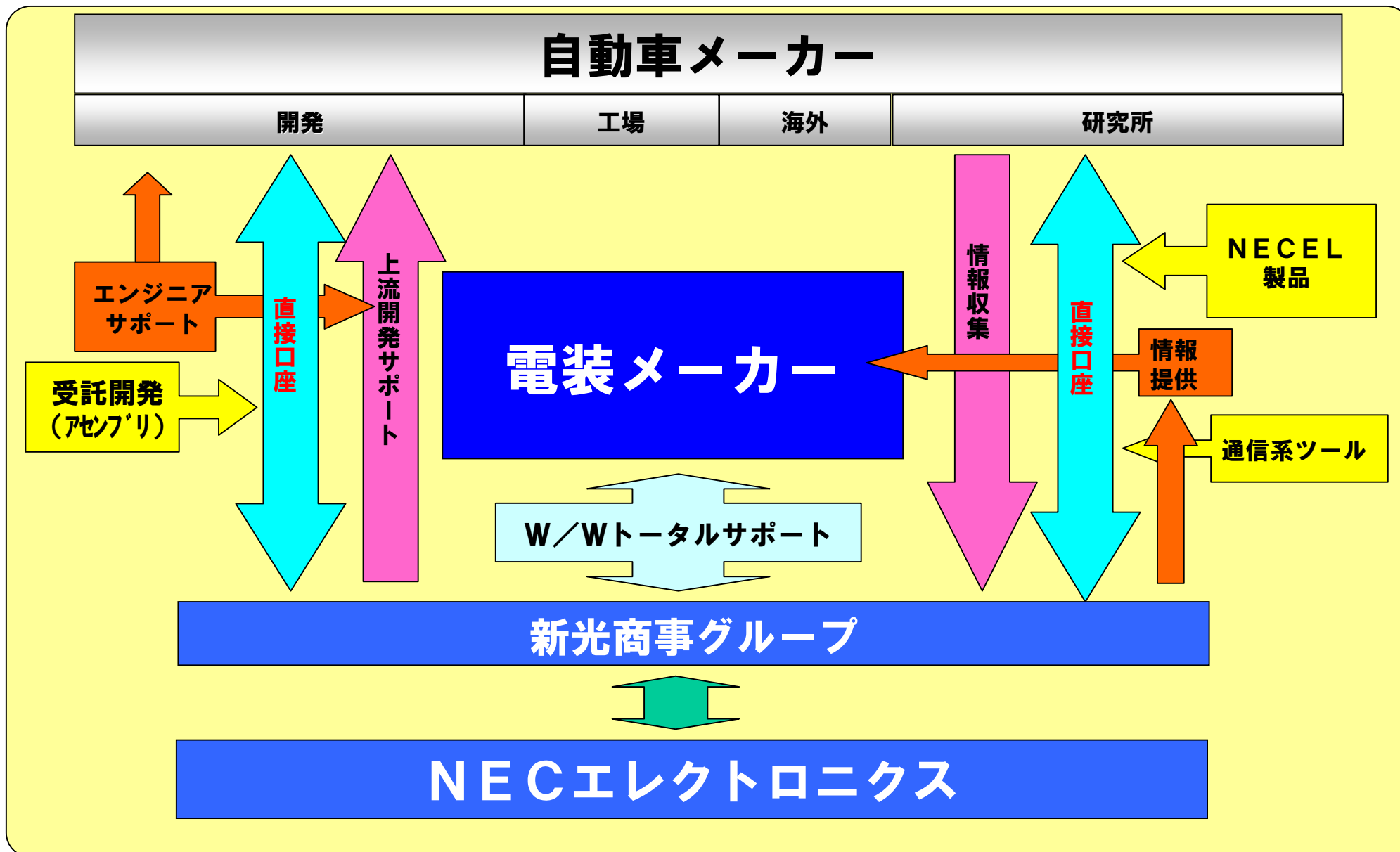
グループ全体の売上高

1, 433億円

NECEL製品の売上高

372億円

1. NECエレクトロニクスと当社のサポート体制②



1. 当社のサポート体制③

自動車業界の各種団体に加盟

- JasPar
- AUTOSAR
- マークラインズ



Jaspar: Japan Automotive Software Platform and Architecture
2004年9月設立。トヨタ、日産、ホンダ、デンソーが幹事会社として活動。
日本を活動拠点として、FlexRayコンソーシアムと、AUTOSARコンソーシアムの活動と連携し、車載LANの要素技術、各種標準化を推進中。

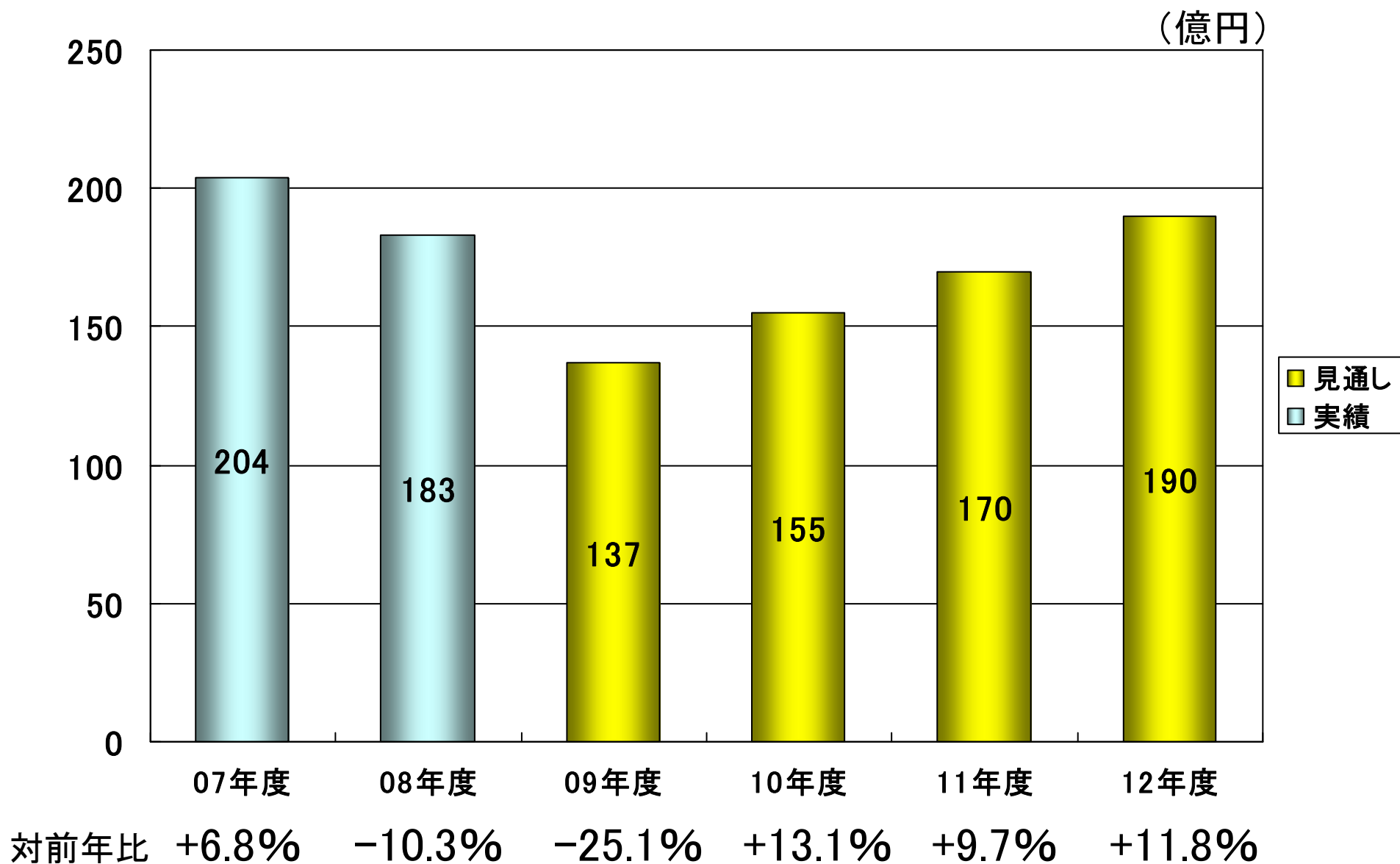


AUTOSAR: Automotive Open System Architect
2003年7月DaimlerChrysler社やBMW, Boschなど欧州メーカーが中心となって設立。



いち早く最新の業界動向を入手し、お客様へのご提案に役立てます。（例、Flex Ray等）

2.電装分野の売上高見通し



2. 電装マーケットへの今後の取組み

新規マーケットへの競争力アップ

1. ターゲット市場（市場の変革）

●自動車業界

- ・クルマのネットワーク化（FlexRay、車車間、車路間通信など）
- ・クルマのインテリジェント化（センシング技術、MEMS、機能安全など）
- ・環境・エネルギー（ハイブリット、電気自動車、燃料電池車、インフラ事業など）

●マルチメディア業界

- ・次世代通信システム（WiMAX、Zigbee）
- ・ディスプレイ応用製品（バックライト、メモリー、MEMS）

2. 幅広い商品の提供を目指す

- ・従来メーカー製品の顧客サポート力強化と新規メーカーを含むシナジーによるトータルソリューション
- ・FABレスメーカー技術（FABビジネス含む）によるシステムソリューション
- ・グローバルSCM（Kitting、EMS、ターンキーソリューション）

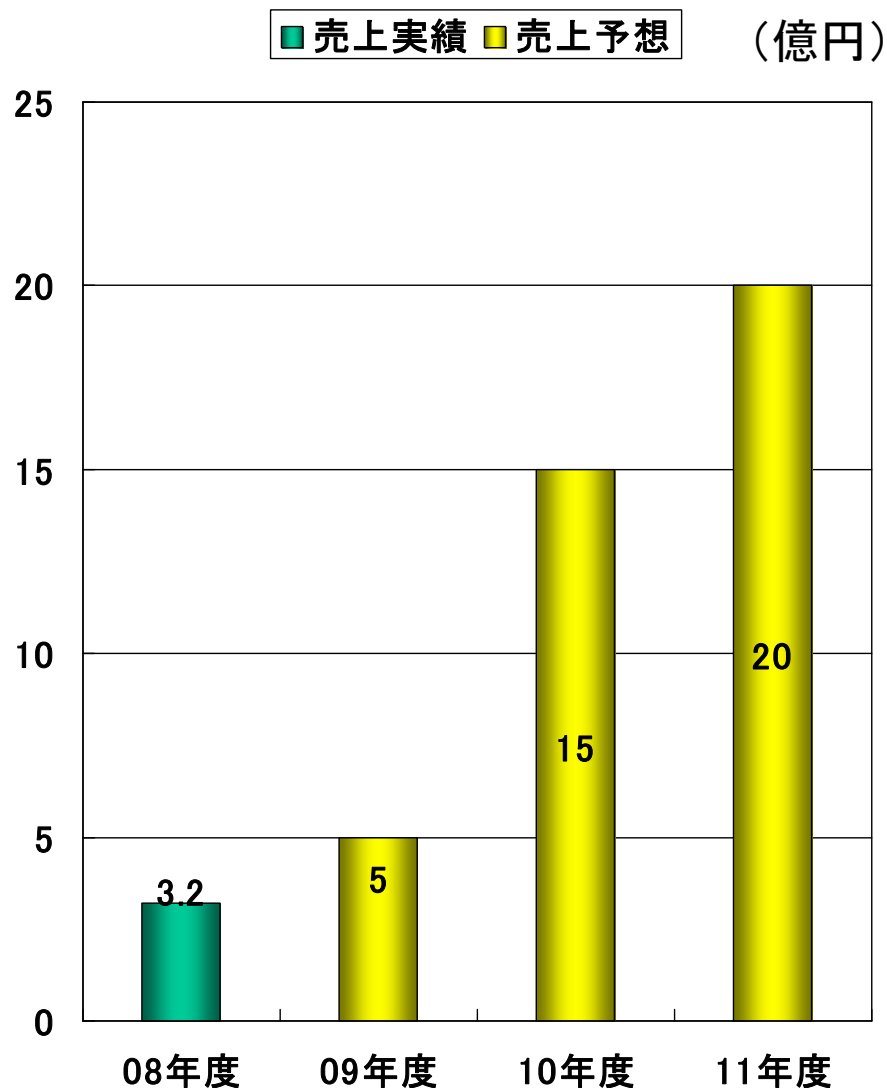
3. 新市場開拓による事業基盤の強化①

新規商権獲得に向けて

NO	ベンダ名	所在地	特徴・保有技術
1	Avalent Technology	US	ファブレスASICベンダ
2	ATRC	日本	LEDバックライトコントロール
3	コスモデザイン	日本	電源IC等ファブレスICベンダ
4	日本ナンヤ	日本	汎用Mobile向DRAM
5	SorbusMemory	日本	CustomerOrientedメモリファブレスベンダ
6	SPIRIT	Russia	MP3、WMA、MPEG等向けミドルウェア
7	Verisilicon	US	ファブレスASICベンダ
8	Virage Logic	US	半導体IP ベンダ(ロジック、メモリ等)
9	Wavesat	Canada	WiMAX、及び次世代通信規格向けチップセット
10	A社	Singapore	MP3の音質向上処理IP、IC、モジュール
11	B社	US	多軸MEMS慣性センサ
12	C社	US	クロックのIP、ICベンダ

その他10社検討中

3. 新市場開拓による事業基盤の強化②



新市場の商談状況

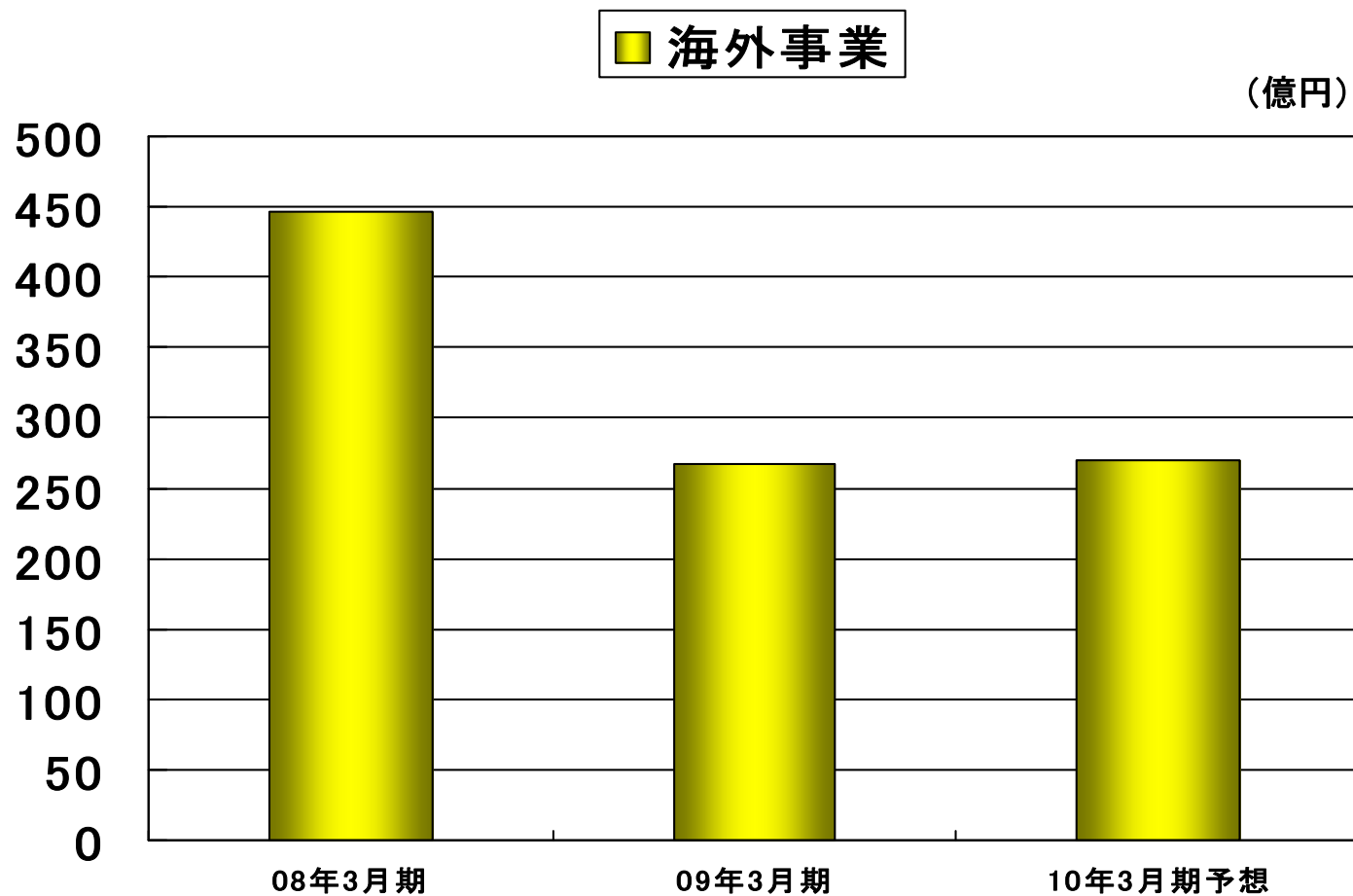
現状の保有商談 115億円



新たなベンダーを開拓し
今年度の商談倍増を目指す

4. 海外事業の状況①

海外売上高推移



※レート: 1\$=90円

4. 海外事業の状況②

直面する経済環境を乗り切るべく経営体質の改善に取り組む

経費削減の取組み

人件費の抑制

販売直接費の削減(ロジスティックス他)

事務所移転

リスク管理の徹底

在庫管理の徹底・削減

与信管理の徹底

- ・信用調査の実施
- ・貸倒引当金の設定

ローカルビジネスの拡販展開

中国・・携帯電話・自動車電装

台湾・・W-LANアプリケーション
モジュール

5.新光商事グループの経費削減について

販管費の削減

(百万円)

	08/3月期 ()内は前年比	09/3月期	10/3月期予想
連結	10,432 +1,627 (18.5%増)	9,414 △1,018 (9.8%減)	7,728 △1,686 (17.9%減)
単体	7,535 +37 (0.5%増)	6,592 △943 (12.5%減)	5,400 △1,192 (18.1%減)

主な経費削減施策

- 1.人件費の削減(役員報酬・管理職給与・無給休日・賞与・残業)
- 2.拠点の統廃合 グループ間での資産の共有
- 3.物件費(コンピューター費用・コピー・光熱費・ビル管理費等)
- 4.NT販売の構造改革(希望退職・物流システムの統合・本社移転及び支店縮小)

6. 娯楽機器事業の現状と見通し①

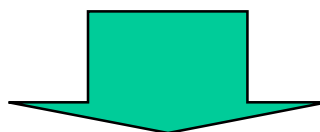
【ホールの経営事情について】

- ・08年度に比べ回復傾向にあるものの、依然厳しい状況が続く
- ・09年度のパチンコ機販売台数は300万台を割込む予想

6. 娯楽機器事業の現状と見通し②

●2009年度の見通し

- ・パチンコ台の価格低減要請により、大幅なコストの見直しを行う
- ・メインパネルは08年度に比べ担当機種が若干減少する見通し
- ・外枠の装着率は08年度に比べ減少する見通し



2009年度売上高は前年同期比約10%減少を予想













2010年3月期の見通し

連結業績見通し

(百万円)

	09年3月期 実績	10年3月期 見通し	前期比
売上高	143,330	120,000	84%
営業利益	2,406	1,800	75%
経常利益	2,697	1,800	67%
当期純利益	990	1,000	101%

分野別の見通し

	09年3月期 トレンド	10年3月期 トレンド	10年3月期見通し
通信			携帯電話向け電子部品価格の下落による減少
電装			回復基調にあるが非常に緩やか
産業			半導体設備関連中心に低迷が続く
民生			ゲーム機は好調を維持
OA			汎用コンピュータ向けテープカートリッジユニットの減少
娯楽機器			大幅なコスト見直しによる売上減少

株主還元について

● 1株当たり配当金

	09年3月期 (予想)	10年3月期 (予想)
中間	20円00銭 (実績)	20円00銭
期末	20円00銭	20円00銭
年間	40円00銭	40円00銭

ご清聴ありがとうございました。

連絡先

新光商事株式会社

取締役 管理部門統括 正木 輝

経営企画部企画課 課長 内野泰宏

Tel: 03-6361-8062

Fax: 03-5437-8481

E-mail: t-masaki@st.shinko-sj.co.jp

uchino@st.shinko-sj.co.jp

住所: 〒141-8540

東京都品川区大崎1-2-2

アートビレッジ大崎セントラルタワー13階

HP: <http://www.shinko-sj.co.jp>